



# ふじみだい

## 仲間

校長 山本 加奈代

梅雨の晴れ間の青空が新鮮で、本格的な夏の到来もうすぐです。

今月は7月1日(月)～2日(火)に4年生野島宿泊体験学習、7月10日(水)～11日(木)に6年生日光修学旅行が計画されています。衣食住を共にする2日間で、友達と協力し、楽しい思い出がくれる活動にしてほしいと願っています。

さて、6月22日(土)は、防災教育活動・児童引き取り訓練が行われました。本校は、保土ヶ谷区、西区、南区から児童が通っているため、防災拠点校が住んでいる場所によって異なります。大規模災害が発生した場合には、いつもお家の方がいるとは限りませんので、地域の方々にもお力を借りることと思われまふ。災害の時こそ、地域との共助がより大切になります。そこで、本校では年に1度、地域の方々との交流を通して、防災について再認識することをねらいとした防災教育活動を行っています。



当日は、多くの地域の方々にもご来校いただき、各地域の防災に関するお話や地域行事についてお知らせしていただきました。その後、ゲーム等を通して地域の方々や児童が顔の見える関係づくりをしました。地域の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

今後も児童の自助、共助の意識を高めていきたいです。この機会に、ご家庭でも話題にして、いつ起こるか分からない大地震に対しての備えをしっかりと行っていきましょう。

6月25日(火)にラグビーワールドカップ2019推進事業の一環で、ラグビー選手の廣瀬俊朗さんと鈴木実沙紀さんをお迎えして、講演会とラグビー体験を行いました。廣瀬さんは2015年ラグビーワールドカップの日本代表に選ばれ、優勝候補である南アフリカからの勝利に貢献しました。鈴木さんは、小学校当時はタグラグビーに夢中になり、中1から本格的にラグビーを始め、2013年、2017年ワールドカップに出場、そして今年も日本代表に選ばれました。女性のラグビー選手の先駆けとしても、今後の活躍が楽しみな選手です。4～6年生が体育館でワールドカップの2015映像や実演を見せていただきました。お二人のお話の中で、心に残るお話がたくさんありました。いくつかご紹介します。

- ラグビーは、仲間のために勇気をもって戦うスポーツである。一番怖いことはタックルすることを怖がって仲間を自分が裏切ること、仲間からの信頼を失うこと。
- 日本チームはいろいろな国籍の選手がいる。得意なことも様々で、足の速い人もいれば、タックルが上手な人もいる。みんな日本のために戦っている。

ラグビーはトライするためにお互い体をぶつけ合い、ボールを奪い取る激しいスポーツです。だからこそ、チームの力を集結しなければなりません。2015年ベンチ入りを果たせなかった廣瀬さんが、仲間のために相手の動きを研究したり、応援VTRを作ったりして支えたそうです。信じる仲間全員で勝ち取った勝利だったと教わりました。